

Environmental Report 2011

Content

| | |
|------------------|----|
| 会社概要／編集方針 | 1 |
| 経営理念／環境基本方針 | 2 |
| トップメッセージ | 3 |
| 特集「資源リサイクル」 | |
| 八戸製錬株式会社 | 5 |
| 技術部長座談会 | 9 |
| 製錬事業における環境負荷の全体像 | 12 |
| 環境マネジメント | 13 |
| 環境改善の取り組み | 15 |
| 安全衛生管理の取り組み | 17 |
| 地域社会との共生 | 18 |

編集方針

「三井金属環境報告書2011」は、三井金属グループが2010年度に推進した環境保全および労働安全衛生に関する活動についてまとめたものです。環境保全および労働安全衛生の基本方針、体制、取り組み内容、成果について説明しています。その際、取り組み事例を具体的に記載するとともに、なるべく定量的な記述を心がけました。また、当グループと環境との関わりをご理解いただくため「資源リサイクル」の取り組みを特集でご紹介しました。

対象範囲／連結ベースの三井金属鉱業株式会社および主要関係会社
 対象読者／お客様、株主、従業員、地域の方々などステークホルダーの皆様
 対象期間／2010年4月から2011年3月
 （一部の活動については2011年8月までの内容を含む）
 発行時期／2011年10月

アンケート調査を実施し、誌面の充実に活かしました。
 三井金属では、「環境報告書2010」をお読みいただいたステークホルダーの皆様を対象にアンケート調査を実施しました。本報告書の編集に当たっては、寄せられた貴重なご意見を参考にして誌面の充実を図るとともに、見やすさ、読みやすさにも配慮しました。

経営理念

創造と前進を旨とし、
 価値ある商品によって社会に貢献し、
 社業の永続的発展成長を期す。

環境基本方針

[理念] 地球環境の保全を、経営上の最重要課題の一つとして位置付け、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動する。

- [方針]
- 1 環境関係法規等を遵守するとともに、必要な自主基準を設け、環境汚染の予防、環境負荷低減に努める。
 - 2 環境保全活動を推進するため、三井金属グループの各所社において、組織および体制の整備をはかる。
 - 3 地球温暖化防止、廃棄物の削減、環境汚染物質の排出量削減について、目標を定めて取り組む。
 - 4 環境に配慮した技術、材料および商品の開発を積極的に推進する。
 - 5 定期的な監査を実施し、環境管理システムの継続的な改善をはかる。
 - 6 三井金属グループで働くすべての人々に対し、環境に関する教育・啓蒙等を通じて、環境保全の重要性を認識させ、意識の向上をはかる。

この基本方針は、三井金属グループの全世界の各所社に適用する。

2010年1月1日 三井金属鉱業株式会社 代表取締役社長 仙田 貞雄

会社概要

本社所在地 〒141-8584
 東京都品川区大崎一丁目11番1号
 創 立 昭和25年5月1日
 資 本 金 42,129百万円(2011年3月現在)
 従 業 員 数 9,810名(連結)
 連結売上高 446,487百万円(2011年3月末)

主な業務内容

| セグメント | 主要製品 |
|--------------|--|
| 機能材料事業本部 | 電池材料、自動車用触媒、機能粉、レアメタル化合物、 |
| 金属・資源事業本部 | 亜鉛、鉛、銅、金、銀、硫酸、地熱蒸気、 土壌調査、産業廃棄物処理 |
| 電子材料事業本部 | 電解銅箔、金属粉、 |
| 素材関連事業本部 | 薄膜材料、人工軽量骨材、パライト、セラミックス製品、 ダイカスト製品、伸銅品・亜鉛板、非破壊型検査装置 |
| 三井金属アクト | 自動車用機能部品 |
| マイクロサーキット事業部 | TAB-COF |